

① 支えられて立つ



最初はお母さんと向かい合い、両手をつないで、つかまり立ちをさせます。何度もくり返していると、片手を援助するだけで立っていられるようになります。

⑦ 肩車をしてもらってバランスを保つ

肩車をし、子どもの両手を持って、からだをゆすつたり、いっしょに回ったりします。慣れてくると、足を持って支えると、自分でバランスを保つようになります。



⑥ 高いりをやる

お父さんがお向けに床に寝て、足の膝から先が床と平行になるように曲げ、その上に子どもをうつ伏せに寝かせます。両手を持って飛行機のような形にして、お父さんが膝から下を軽く上下・左右に動かし、子どもにバランスをとらせ



0歳児の親子ふれあい体操

8～11ヶ月の運動

這ったり、姿勢を維持しようとする8ヶ月頃からできる体操(運動)を紹介します。

体操で育つもの からだを支えたり、はったりする筋力やバランス感覚、移動しようとする腹筋力や脚筋力、空間認知能力、回転感覚や、逆さ感覚の向上、親(保護者)と子のコミュニケーションづくり、快の体験と情緒の開放

磐田市こども未来課 TEL. 37-2012 FAX. 37-4631



② トンネルくぐりをやる



赤ちゃんはトンネルくぐりが大好きです。くぐり抜けるときに「バー」と声をかけて、意欲づけをしましょう。

③ つり上げをする

向かい合って立ち、お母さんの親指を握らせ、子どもの首を持ってつり上げをします。



④ ハンドルまわしをする

椅子にすわったお母さんの膝の上に乘せて、「運転手さん」になり、ハンドルを持つまねをさせます。

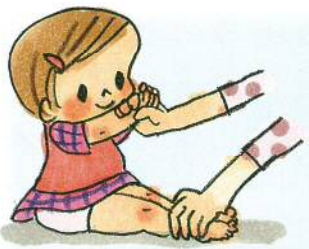


⑤ ボートごぎをする

お父さんは開脚してすわり、内側に子どもを同じ向きですわせます。いっしょに棒を持って、前後にからだを倒してボートをこぐ真似をします。



⑧ 体おこしをする



足を前に出して長座姿勢ですわっている子どもの両手を右手で握り、左手で子どもの両足を押さえます。子どものかかとを軸にして、腰や膝が曲がらないように注意して引き上げ、立っまで引き上げます。

⑨ 頭をつけたさか立ち姿勢になる



子どもの両足首を握って、ゆっくりと垂直姿勢を持ち上げ、しぼりくちで降ろします。慣れたら、持ち上げてゆらゆら左右にゆすってあげてもよいでしょう。

⑩ まねをしながらからだの太鼓たたきをする

「ドン、ドン」「ボンボコ」等、かけ声をかけると喜びましょう。次に、「手をたたきまじゅう」「膝をたたきまじゅう」と言いながら、お母さんがその通りに自分のからだの各部位をたたき、子どもにもまねをさせます。身体いろいろな部位の名前を覚えさせながら、楽しくたいていきます。

体操はいいことがたくさん!



夜の運動はNG

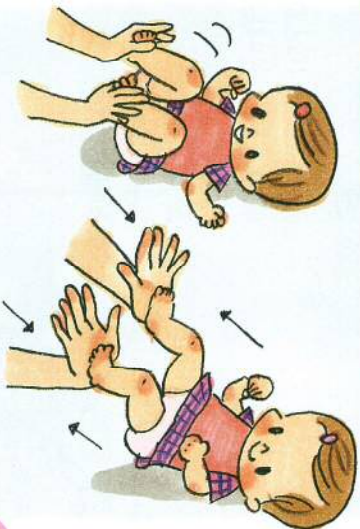
夜に体を動かしすぎると、子どもは血液循環がよくなり、かえって眠れなくなってしまう。仕事から帰ってきたお父さん、夜の運動あそびはくつとガマンして、体を使ったあそびは、朝起きてから行うのが理想的です。

早稲田大学人間科学学術院
前橋 明 研究室 提供

⑪ 引っぱり立ちをする

子どもの腕が曲がらないように腕、頭、肩、腹が床から順に離れるように、ゆっくり引き上げ、立ち上がるまで上に引き上げます。

⑫ 足上げキックをする



足の裏を支えて押し、手をゆるめると膝を伸ばしてきます。ゆるめた手を蹴るように誘って、徐々に手を高くして、その手を目標に、高く蹴らせませす。

⑬ ハイハイ登りをする



お母さんが寝たり、すわったりしている時に、子どもがハイハイして寄ってきたら、からだの上に登らせるようにするとよいでしょう。赤ちゃんは高い所に登るのが大好きです。ハイハイも上手になり、興味のあるものへ、とんとん動いていきます。